

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局 地方道・環境課
担当課長名：下保 修

事業名	地域高規格道路「山口宇部小野田連絡道路」 主要地方道山口宇部線	事業区分	地方道	事業主体	山口県
起終点	自：山口県山口市朝田 至：山口県山口市江崎			延長	14.1 km
事業概要					
地域高規格道路「山口宇部小野田連絡道路」は山口市から宇部市を經由し山陽小野田市に至る全長40 kmの路線である。山口宇部線は、山口宇部小野田連絡道路の一部を形成し、山口宇部有料道路と接続、物流・産業・経済等の多面的な交流強化による地域活性化に寄与する道路である。					
H 9年度事業化	H 9年度都市計画決定	H 12年度用地着手	H 10年度工事着手		
全体事業費	約450億円	事業進捗率	57%	供用済延長	0 km
計画交通量	18,300台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.1 (残事業) 7.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 231/524億円 事業費：167/460億円 維持管理費：64/64億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,643/1,643億円 走行時間短縮便益：1,494/1,494億円 走行費用減少便益：112/112億円 交通事故減少便益：37/37億円	基準年	平成18年
感度分析の結果 ：残事業について感度分析を実施					
交通量変動： B/C=7.9(交通量+10%) B/C=6.4(交通量-10%) 事業費変動： B/C=7.7(事業量+10%) B/C=6.6(事業量-10%)					
事業の効果等					
・円滑なモビリティの確保（第二種空港山口宇部空港へのアクセス向上が見込まれる） ・個性ある地域の形成（湯田温泉等主要な観光施設へのアクセス向上が期待される） 他5項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見					
山口・宇部山陽小野田間の地域間相互交流・高速交通拠点との連携を図り地域活性化の向上を目指し、宇部市、山口市、山陽小野田市の関係3市にて構成する「山口宇部小野田間地域高規格道路建設促進期成同盟会」を設立され、積極的な整備要望を受けている。(H18.8.3要望)					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
山口市と周辺4町が合併し、新しい山口市となり、行政の広域化による、広域交流の促進が必要となっている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地補償進捗率56%、本線部ト補2(完成1、施工中1)、橋梁23(完了6、施工中11、未着手6)、土工はほぼ全線にわたって展開している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
引き続き工事を推進し、本線部の平成22年度末の供用開始を目指す。					
施設の構造や工法の変更等					
特になし					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由					
以上の状況を勘案し、当初より事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図					
位置図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。